

学校教育目標「思いやる」

めざす生徒像

「自他ともに思いやる生徒」
 育成すべき資質能力
 ○自ら気づき、考え、判断・決断し、行動する力
 ○多様性を尊重し、対話を通して納得解や新たな価値を創造する力

学校経営目標

すべての生徒が安心できる環境のもと、問いかけを重視した教育活動を展開し、育成すべき資質・能力が育つ学校を創る

学校経営の重点

- 1 授業改善を推進し、確かな学力を育みます
- 2 温かい雰囲気大切に積極的な生徒指導の推進と危機管理体制を構築します
- 3 教師は黒子となって生徒を支え、生徒を主役に据えた学年・学級経営を推進し、主体性を育みます。
- 4 家庭・地域との連携を強化し、安心安全な学校を創ります

校内研修 生きてはたらく資質・能力を育成する授業
 ～主体的な学びを育む課題設定の工夫～

＜絆づくり部＞ ※（数値目標）

- (1) 目的意識をもって行動できる（50%）
- (2) 仲間や自分の良さに気づき、伝え合うことができる（60%）

*生徒アンケート結果（4「とてもそう思う」と答えた割合と4に3「そう思う」の答えを加えた割合）

	項 目	R 4	
		4の割合	43の割合
1	目的意識をもって行動できましたか	36%	91%
2	仲間の良さを見つけられましたか	61%	96%
3	仲間の良さを伝えることができましたか	32%	78%
4	仲間の良さを伝えられて、うれしかったですか	47%	88%

〈考察〉

前年度から重点目標が変わり、年度初めから(1) (2)の重点目標を掲げて教育活動を行った。目的を意識する生徒が全体的に増えたにとらえた。しかし、与えられた目的に向かって考えずに行動してい

る生徒の姿も多い。来年度は「目的」についても問い返し、振り返ることで、より目的意識を高めていく。また、仲間の良さに気づくことはできているが、それを表現できていない。また、良さを認められる声掛けをされても、良さを強みとして認識できていないことが、生徒アンケートや全国学調のアンケートなどから読み取ることができた。来年度は、自他の良さを認め合う場を大切にし、自己肯定感を高めていきたい。

<学びづくり部>

- (1)相手の思いを大切に聴き、自分の考えに生かすことができる。(65%)
- (2)自分の考えを自分の言葉で仲間に伝えられる。(50%)

*生徒アンケート結果（4「とてもそう思う」と答えた割合と4に3「そう思う」の答えを加えた割合）

	項 目	R 4	
		4の割合	43の割合
1	学習用具を机上に準備して、チャイムあいさつができましたか。	74%	97%
2	相手の思いを大切に聴き、自分の考えに生かすことができましたか。	51%	94%
3	自分の考えを自分の言葉で仲間に伝えられることができましたか。	40%	86%
4	週5日以上、家庭学習（塾等を含む）をしましたか。	31%	70%
5	授業がわかりますか。	26%	83%

<考察>

アンケート項目の2・3の肯定的な回答が多い結果の要因は、授業の中で仲間同士による対話活動が積極的に行われている結果だと考えられる。しかし、4の割合が低い。特に、全体の前で発表をしたり、その発表に対して質問をしたりすることに対して苦手意識をもっている生徒は多い。来年度は、プレゼンテーションをする機会を設定することと共に、発言したくなるような課題設定の工夫に取り組み、表現の力を高めていく。

また、生徒アンケート「授業がわかりますか。」の質問の回答の4の割合が大変低かった。生徒主体の授業への転換を図った結果、生徒に任せすぎてしまっていることが、この結果の要因だと考えられる。生徒主体の授業づくりをするために、必要であれば授業者主体の授業の設定を単元に組み入れることで、より生徒が主体的に授業に取り組む姿となるようにしていきたい。

<保護者・地域・行政とのスクラム> *保護者アンケート結果

(4「とてもそう思う」3「ややそう思う」と答えた割合)

	項 目	R 3	R 4	前年比
1	家庭への連絡をきめ細かく行っている。	92.1%	85.8%	↓
2	保護者の相談に対して、丁寧に応じている。	96.0%	93.9%	↓
3	子どもを大切にす姿勢で指導にあたっている。	94.1%	89.6%	↓

<考察>

保護者アンケートでは、前年度に比べて肯定的な回答の割合が低い結果となった。生徒を大切にする雰囲気、人権意識をさらに高めるいい機会ととらえて、教育活動を行っていく。また、今後も、保護者・地域・行政とのスクラムを大切にしていく。